

キャラクター名
蝦夷 銀次郎

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン サラマンダー		ワークス	マフィア	カヴァー	森の熊さん
	オプショナル		年齢	28	性別	♂
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	28	%
出自	権力者の血統	経験	危険な仕事	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	6
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	5		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	7	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	2r-1	12	0		他の武器装備不可
焰甲拳Ⅰ (60~80)	白兵	3r		25		[9] 1+2+3 ドッジ不可 ガードでHP-15
焰甲拳Ⅱ (80~99)	白兵	2r		37		[13] 1+2+3+4 ドッジ不可 ガードでHP-15
ダブルパイセップス (100~160)	RC	5r+5		67		[17] 1+2+3+4+5 ドッジ不可 ガードでHP-18

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
コネ:裏社会のなんか	
コネ:調達師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
Dロイス 変異種:ノイマン	P	N	
故郷	P 懐旧	N 〇隔意	
レネゲイドヒヒイログマ	P 〇感服	N 恐怖	
"マスターオラクル"	P 執着	N 〇警戒	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 18 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
プレディクション	3	4	メジャー				Dロイス	
効果:	あらゆる攻撃に組み合わせることができる。この攻撃に対して、対象はドッジを行えない。シナリオLV回							
紅蓮の衣	5	2	メジャー	至近		白兵・RC		
効果:	ガードを行ったキャラクターに与えるダメージを+[LV×5]							
エネルギーマイスター	5	3	メジャー			シンドローム		
効果:	攻撃に対して対象がガードを行った場合、その対象はHPを[LV×3]点失う							
クロスバースト	3	4	メジャー			シンドローム	80↑	
効果:	攻撃の攻撃力を+[LV×4]。判定ダイスを-2個							
プラズマカノン	3	4	メジャー		単体	RC	100↑	
効果:	[攻撃力:+[LV×5]]の射撃攻撃を行う							
マクスウェルの悪魔	3	5	オート	視界			120↑	
効果:	自分に対する攻撃、または自分の攻撃のダメージを+ [LV+1] Dか- [LV+1] Dする							
天性のひらめき	2	4	メジャー					
効果:	あらゆる判定のC値を-LVする 戦闘中には使えない							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

全身の筋肉を脳細胞のように思考に使用できる特殊な変異種ノイマンの能力者。「脳味噌こそが筋肉」「桃色の脳細胞」レネゲイドの発火、誘爆能力も併せ持っており高度な計算による回避不能の一撃を叩き込むオーヴァード殺し。普段は肉弾戦に頼るが、体温が一定を超えると超威力の熱線を胸筋からポーキングと共に放ち敵を焼きつくす。

マフィアらしい用意の周到さを備え、情報と物資の調達に長けている。特に狩場には自らの正体を隠すためのものを持ち込むことを怠らない。

マフィア集団「閻魔 (YAMA)」の首領の跡継ぎとして生まれ、それに相応しい能力を与えられる。だが彼はまだ見ぬ脅威に抗う為にも危険な仕事を望み、足かせとなった次期首領の座を捨てフリーのオーヴァード狩りとして独立した。最初こそ追手から逃れる日々だったが、振り返りになる追手の数が数百を超えたあたりで諦めたのか彼の存在は現在では黙認されている。

過去にレネゲイドヒヒイログマとの死闘の末に生死の境を彷徨った時以来、熊を常に仮想敵として見据えており今も熊のテリトリーで生活している。